

## コラム②：この春（3月～5月）と夏（6月～8月）の気象予報

沖縄気象台では2月24日に、3か月予報(春:3月～5月の予報)と暖候期予報(夏:6月～8月と梅雨時期の予報)を発表しました。この春から夏にかけては、熱帯では西太平洋で海面水温の高い状態が続き、フィリピン付近では積乱雲の発生が多くなる見込みです。また、地球温暖化などの影響で、大気全体の温度が高い状態が続く見込みです。(図1、図2)

この春の沖縄地方は、期間の始め(3月)ごろを中心に、上空の偏西風が北西から南西方向へ流れやすい状態となるため低気圧や前線の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みです。春の降水量は「ほぼ平年並」(少ない確率40%)を見込んでいます。また、暖かい空気に覆われやすく、この春の平均気温は「高い」(高い確率50%)でしょう。

### 予想される海洋と大気の特徴 2017年春(3～5月)

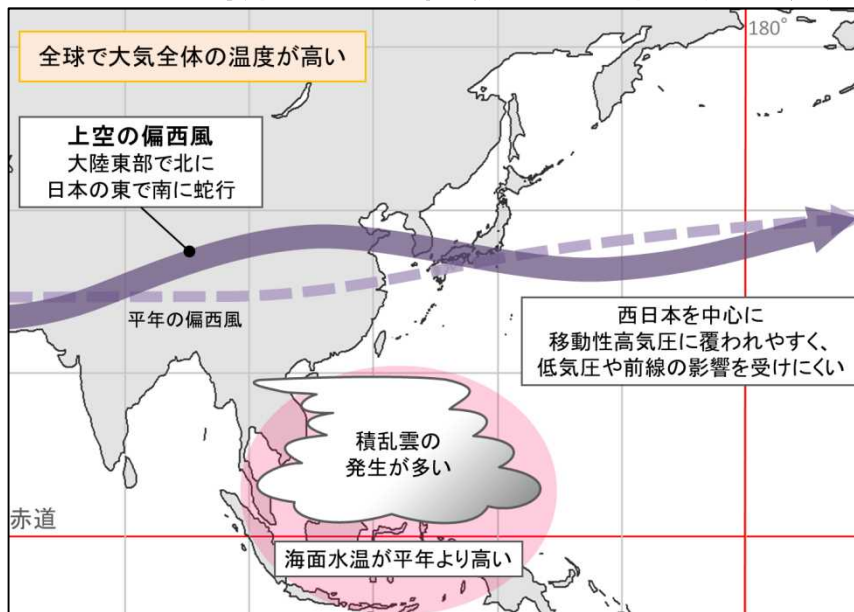


図1 数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴 2017年春(3月～5月)  
<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/pdf/pdf3/936.pdf> (最新の3か月予報解説資料)

この夏は、太平洋高気圧の北への張り出しが強い見込です。沖縄地方は平年と同様に太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みですが、太平洋高気圧の縁を回る湿った空気の影響を受ける時期もあるでしょう。梅雨時期(5月～6月)、夏(6月～8月)の降水量はともに、「ほぼ平年並」(多い確率40%)を見込んでいます。また、夏も暖かい空気に覆われやすく、平均気温は「高い」(高い確率50%)でしょう。

### 予想される海洋と大気の特徴 2017年夏(6～8月)

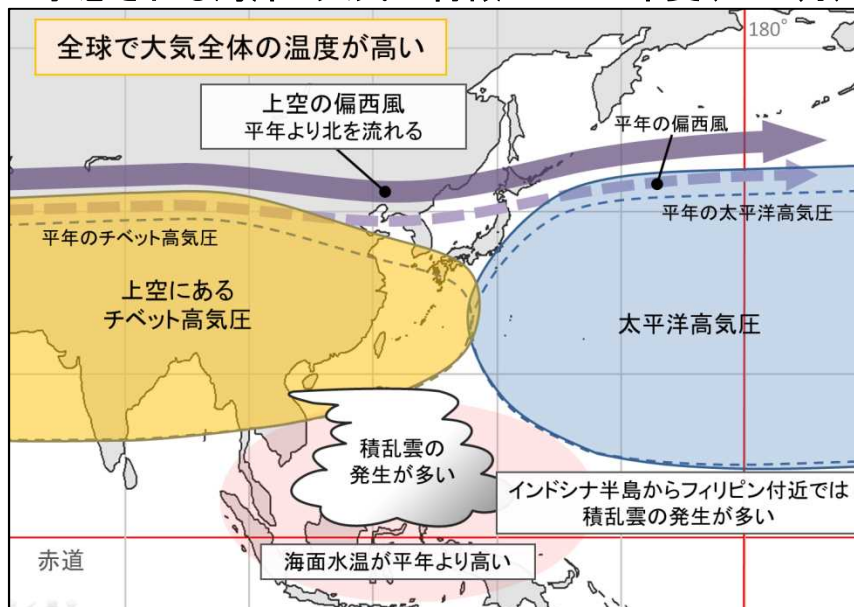


図2 数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴 2017年夏(6月～8月)  
<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/pdf/pdf6/936.pdf> (最新の暖・寒候期予報解説資料)



気象庁マスコット  
 キャラクター  
 はれるん